

Q & A Ver.1

<入試>

- 1 応募の条件はありますか。
ありませんが、目安として評定平均 4.0 以上の生徒を対象としたコースです。
成績優秀者の場合（英数理で 13 以上）場合、優遇（ペーパーテストの点数に加点）されます。
※入試募集概要参照
- 2 入試は、どんな問題が出されるのですか。
英数国に関しては、これまでの一般入試の問題と傾向は変わらず、一般受験生と同じ問題で受験します。
- 3 面接は、どのような準備をすればよろしいでしょうか。
入学する目的がはっきりしているかを、まず尋ねます。また、知的好奇心のある生徒かどうかを見たいので、普段から本や新聞に目を通すように心がけてください。
- 4 入試で受からなかった場合どうなりますか。
普通コースも併願可なので、普通コースへの合格もあります。
- 5 このコースの優遇制度はないのですか。
来年度の入試についてプロアクティブラーニングコースでは優遇制度を導入しておりません。しかし普通コースの優遇制度を用いた出願時にプロアクティブラーニングコースへのスライド合格希望欄にチェックをすることで、併願受験も可能となります。この場合 2 月の入試で高得点をぜひ目指してください。

<教育課程>

- 6 普通コースと教科書や授業内容は異なりますか。
教科書は一部異なり、授業内容は応用的なものも含まれます。理数系の科目については普通コースに比べて進度も速くなります。また少人数のクラスの為、実験やディスカッション等も積極的に取り入れています。このコースの理数系は高 3 夏休み前後でカリキュラム終了予定です。
- 7 普通コースにある「自由研究」という授業はないのですか
平成 25 年度より「自由研究」を履修できるようになりました。さらに本格的に自分の関心のある分野について掘り下げて探究するため、自由研究の中でも「SSH リサーチ」「知の理論」等を履修することを推奨しています。これらの授業で問題解決型の探究学習に深く取り組むことができます。
※「知の理論」とは、玉川学園の IB コースでも実践している授業（Theory of Knowledge）の日本語版です。様々な学習領域の中で「知っているということはどういうことか」を考え、関連づけ、発展させていきます。「情報、データ、信用、信念、意見、知識、知恵の違いとは何ですか？」「常識というのは社会で当然であると考えられていることですか？私たちが何かを決断する時、どんな場合に常識を考えるべきですか？」「知というものは我々の内側から生まれるものですか、外側から入ってくるものですか？」などの問いを手がかりにしつつ、生徒の意識や問題解決能力を高め、学習活動全体を統一した知的探究のフィールドへと導きます。
- 8 普通コースのように英語・数学は能力別クラス編成がありますか。
はじめから能力別クラスにした場合の上位層を集めますので、その中でのクラス編成はありません。しかし生徒の授業の理解度を吟味する中で進路別に分かれた授業も検討しています。
- 9 学校生活がかなり忙しいように思えますが、塾に行くことはできますか。それとも塾に行かなくても学校だけで受験対応できますか
塾に行かなくても済むようなプログラムを組みますが、ご家庭の判断で塾に行くことを選択されでも構いません。
- 10 私立大学受験の場合も、国公立大学受験のカリキュラムで履修しますか。
選択科目を設定し、対応します。

- 1 1 ついて行けるか心配ですが、フォローアップはしていただけるのですか。
「プロアクティブ」という意味は、「率先して行動する」、この場合「学習する」という意味です。授業内容を確認、復習する課題が出されますので、家庭学習で理解、定着をはかり、分からない場合は、自分から先生に質問に行くことを奨励します。ただ、それでも授業の理解が追いつかない場合には、平日7時間目等を用いて指定者補習を組みます。

<評価・進路>

- 1 3 成績の基準は普通コースと異なりますか。
一般受験で大学に全員合格することを目指しますので、定期試験は普通コースよりかなり難しくなりますが、成績上普通コースに比べて不利にならないよう、普通コースとすりあわせをして、ほぼ同じ成績がつくように配慮します。
- 1 4 途中でコース変更はできますか。
年度替わりのときPLコースから普通コースへ、またその逆も可能です。（ただし、高校2年生から3年生に進級する際の普通コースからPLコースへのコース変更はできません。）
- 1 5 指定校推薦や公募推薦は利用できますか。
医学部を除いて指定校推薦は受けられません。ただし、公募推薦、AO入試や自己推薦入試は出願可能です。12年進級時に普通コースに移ることで指定校推薦も受けられるようになります。
- 1 6 玉川大学への内部進学はできますか。
普通コースの11.5年に伴う玉川大学I期学内入試を受けることはできませんが、12月のII期学内入試を受けることはできます。

<課外活動>

- 1 7 部活動は参加できますか。
週2回以外は普通クラスと同時刻の終会（HR）後での解散になりますので、その後クラブ活動に参加できます。土曜日も、午後から活動できます（必修企画がない場合は午前から参加可）。
- 1 8 行事に参加できますか。
普通コースと同様すべての行事に参加します。なお、これら以外に、SSHの外部発表会や数学、科学オリンピック参加、模擬国連参加など、多彩な活動に対する参加を推奨しています。
- 1 9 海外研修はありますか。
コースとしての海外研修は予定していません。学園国際交流主催の短期海外研修に参加するよう奨励しています。
- 2 0 文系でもSSHの企画に参加しなければいけませんか。
このコースの研修の中でSSHの企画参加は年間数回設定しています（必修および任意）。SSHの主生徒として登録されるように、課題研究型の授業を積極的に履修することを推奨しています。

<諸費用>

- 2 1 学費は高くなりますか。
普通コースと同額です。
- 2 2 土曜日や長期休暇の講座は有料ですか。
高学年の教員による講座ですので、無料です。
- 2 3 模擬試験は有料ですか。
模擬試験は年に7回ほど予定しています。内2回は学校負担になりますが、他の5回程度は自己負担になります。